

長峰公園内の石碑紹介④

このシリーズもいよいよ最後になりました。今回は三基まとめて紹介いたします。設置場所は、⑦が戦没者慰霊塔の近くで、⑧は東側駐車場の北側にあるトイレの裏側にあります。

⑦赤福篤太郎大尉顕彰碑（昭和六年十二月建立）



赤福篤太郎は、文久元年（一八一六）に現在の山口県周南市で生まれました。奇兵隊の総監を勤めた赤福武人の義弟にあたります。日清・日露戦争で戦功をあげ、大尉に昇進しています。

退役後、大正末期に現在の扇町二丁目に移住して来ました。赤福家は代々鉾山の採掘技術に長けており、高原山の鉾山開発のために招かれたと伝えられています。そして、昭和五年に七十三歳で亡くなりました。

⑧坂部教宜先生の碑（大正四年十月建立）

塩谷郡初代郡長となった坂部は、弘化三年（一八四六）に現在の佐賀市で生まれました。坂部家は、代々佐賀藩の武術指南役を勤めた家柄でした。二十二歳の時に、下野の治安維持のために国家

老の鍋島幹に従って来県し、明治十一年に矢板村に塩谷郡役所が設置されるや、その初代村長に任じられました。

その後、各郡長を歴任し、再び矢板に戻って来ました。そして、明治三十七年に矢板に私立共立学校ができると、自ら教師となつて子弟教育にあたりましたが、明治四十三年に矢板農学校が設置されると、共立学校は廃校となりました。この碑は、その生徒たちによって建てられたものです。



⑨弓道師範中村光徳の碑（昭和十年三月建立）



中村は、安政五年（一八五八）に矢板村の旧家奈良屋に生まれました。明治の初めころ、宇都宮藩士の星野忠徳の門に入り修行を積み、日置流雪荷派の師範となり、一時は千人余の門弟がいたと言われています。毎年春になると、長峰公園内で弓道大会が開催され、大変なごきょうを見せたそうです。

昭和七年に七十五歳で亡くなりましたが、この碑はその三周忌に建てられたものです。

今回は、長峰公園内の記念碑の紹介をしました。が、この他各行政区内にもたくさんあります。矢板市には、昔から先人たちの功績を顕彰するという思想が、植え付けられていたようです。

今回の、長峰公園内の記念碑の紹介をしました。が、この他各行政区内にもたくさんあります。矢板市には、昔から先人たちの功績を顕彰するという思想が、植え付けられていたようです。

記者の矢板おすすめスポット！

人気のスペシャルセットはずっと変わらない味!! 「吉番館」矢板市内から八方ヶ原を目指して泉地区を進むと、見えてくるのが昭和レトロな雰囲気のお店「吉番館」です。若いころは、東京で喫茶店などで働きたり流して歌を歌っていたこともあるマスターが、矢板出身の奥さんとの結婚をきっかけにお店をオープンしたそうです。



B+Cセットは1,200円

人気のスペシャルセットは、ハンバーグメインのBセットが男性に、グラタンメインのCセットが女性に人気で、サラダ・オボロタン・ソーセージ・たまごサン

一番の人気メニューはつけ麺カレーそば「そば処天盛」

「そば処天盛」さんは、昭和六十一年、黒尾正美さんと奥さんの瑞穂子さんと開業されたお店です。昔から子ども連れで、そして最近では孫と一緒に、お邪魔しています。

開業当時はシャープの社員さんが多く、たくさんの方が来店し忙しかったため、七人のパートを雇って、いた時もあるそうです。長男の文彦さんは跡を継ぐためにサラリーマンをやめ、部栄養専門を専攻し、



卒業後、店を手伝い始めました。現在は、専門学校で知り合い結婚した由光さんとともに、家族四人で営業しています。メニューも当時の二十種類から四十種類に増えました。ランチには、日替わり、週替わり、曜日別など、さまざまな限定メニューがあり、値段も七八〇円と格安です。一番人気の「つけ麺カレーそば」は辛すぎず、絶妙な味で、お子様にも大人気だそうです。ぜひ味わってみてはいかがでしょうか。（K・H）



つけ麺カレーそば880円

（編集後記）平成の時代も来年をもって改元となる。この元号は「大化」に始まり、その後、247回改元されて現在に至っている。ここで採用された字はわずかに72字で、最も多いのが「永」の29回である。次はどんな元号になるのでしょうか。その上、200年ぶりの上皇誕生となる。その瞬間を今から楽しみにしている。（T・S）